

「気前がいい主人」

聖書箇所：マタイの福音書20章1~16節

【1】 気前がいい主人

- ・ イエスの「天の御国」のたとえ
 - 『自分のぶどう園で働く者を雇うために朝早く出かけた、家の主人』
- ・ 気前がいい主人
 - 「何もしないで立っている」人を見つけ賃金の約束後ぶどう園へ (マタイ 20:3~7)
- ・ 不満をもった労働者

【2】 主人の思いと人の思い

- ・ 社会的背景
 - ローマ帝国の支配下/重税と雇用不安/多くの失業者/日雇い労働
- ・ 主人の思い
 - 「最後の人にも、あなたと同じだけ与えたい」 (マタイ 20:14)
- ・ 人の思い
 - 後から来た者と先に働いている者を同じように扱うのはおかしい (20:12)

【3】 天の御国の価値基準

- ・ 私たちは「天の御国」をこの世の価値基準で理解しようとしていないか？
- ・ 主人の気前の良さは、自分を「先の者」だと自負する者の心に妬みを引き起こす (参照 15 章)。
- ・ イエスが教える「天の御国」
 - 報酬として勝ち得るものではない
 - ふさわしくない者に対する神の恵みとして与えられるもの
- ・ 「良い」お方を見る私たちの目は「邪悪なもの」となっていないか？
 - 直訳：「私が『良い(人)』で、あなたの『目』が『邪悪』なのですか」 (マタイ 20:15)

《祈り》 私たちの心の目を開いてください。「良い」あなたの思いを真に知ることができますように。自分に対する神の恵みの大きさを知り、私を喜ぶ者へと変えてください。

